

「重要事項伝達漏れ防止システムを共同開発」

旭川医科大学病院（医療安全管理部および経営企画部）では、株式会社医用工学研究所（三重県津市）と共同で電子カルテに依存しない独立型重要事項伝達漏れ防止システムを開発いたしました。

画像所見や病理所見などの見落としによる医療事故が全国的にも問題となっています。このシステムは、画像検査結果・病理検査結果などを確認し患者へ説明されたかどうかを監視することにより、検査結果の確認や患者へ結果説明がされていない場合に注意を促す極めて効率的なシステムとなります。

従来のシステムは、監視対象が単一のものや電子カルテの機能の一部として機能が大きく制限されているものでしたが、今回通知システムを新たに開発・導入することにより、これまでの不備を大きく解消し、検査結果の説明忘れを未然に防ぐことが可能となります。なお、本システムは特許出願中です。

本システムの特徴は以下の通りです。

- ・ 特定の電子カルテメーカーに依存していないため、どの施設でも導入可能。
- ・ 画像検査や病理検査以外にも血液検査結果などの確認や説明など、設定する監視対象をある程度自由に設定可能。
- ・ 電子カルテを使用しながら端末上で確認できるため診療とシームレスに利用可能。

つきましては、本件について広く周知したく報道方よりしくお願いいたします。

【内容に関するお問合せ】

旭川医科大学病院 医療安全管理部

TEL : 0166-69-3203

【本プレスリリースに関するお問合せ】

旭川医科大学総務部総務課広報基金係

TEL : 0166-68-2118